

図書だより

ポレポレ



城中図書館へようこそ

9号

2021年3月

(※ポレポレとは、スワヒリ語でゆっくりゆっくりという意味です。)

城山中学校

学校司書 中島順子

3年生の皆さま ご卒業おめでとうございます☆

・3年生の9割の生徒の皆さんが本を借りてくれました。過去最高の貸し出し率です♪
図書カードが6枚になった生徒さんも！卒業式まえに各自の図書カードを返します。

城中図書館での読書履歴を見て、振り返りの参考にして頂けましたら幸いです☆

皆さんの明るく前向きな姿勢に、後輩の方々と同じように励まされました！

ありがとうございました♡♡♡

1・2年生の皆さま ご進級おめでとうございます☆

・これからあなたの大切な1冊に出会えるよう城中図書館がお手伝いできたら嬉しいです。

☆☆☆ 想像できなかった1年でした。そしてこれから何が起こるか分かりません。どんな状況になっても自分の頭で考え、未来を切り開いていってください。

そのためにも本、映画、音楽…さまざまな文化を吸収して心の体力もつけて、生き抜いていかれることを願っています☆☆☆



ぼくが ここに まど・みちお

ぼくが ここに いるとき

ほかの どんなものも

ぼくに かさなつて

ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば

そのゾウだけ

マメが いるならば

その一つぶの マメだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなどころに

いるときも

「まど・みちお詩集」より

夏川草介



神様のカルテ

「神様のカルテ」 夏川草介(著)

・信州の病院で働く栗原一止。29歳の内科医。激務の毎日だが、実直に生真面目に勤務する。敬愛する夏目漱石の影響でちょっと古風な話し方に。作者が医師であるために、よりリアルな医療小説となっている。そんな時に盟友学士殿が自殺未遂を。その彼へ送る本の中の言葉「明けない夜はない。止まない雨はない。そういうことなのだ、学士殿」(『夜明け前』島崎藤村(著))は、今の心に刺さります。

文庫本うしろの解説が上橋菜穂子さん - 「心地よい物語だな〜…」 - と。読み終えた上橋さんの感想も秀逸です。あわせて是非読んでみてください♡♡♡
信州の雄大な自然と笑いも満載です☆ (シリーズ5巻すべて城中・図にあります)

「鹿の王 上・下」 上橋菜穂子(著)

・その上橋菜穂子さんの作品です。医学・政治・民俗学・冒険・ファンタジー…と多くの要素を含む重厚な内容です。この中のもう一人の主役の天才医術師ホッサルが謎の疫病をさぐり、新薬の発明のために奮闘する。現在と重なる場面も。作者のあとがきに、「自分の身体ほど、わからないものはない…。略〜『人(生物)の身体は、細菌やらウィルスやらが、日々共生したり葛藤したりしている場である』」この作品への熱意を伝えてくださっています。

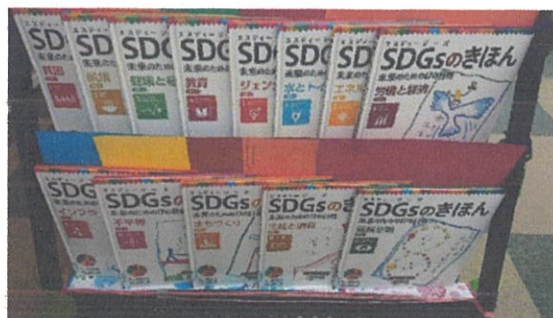
*世界中が新型コロナウイルスに翻弄されている今 医療に関係する本2冊を選んで紹介させていただきました。

みんなの未来のための SDGs (持続可能な開発目標：17)

1 貧困、2 飢餓、3 健康と福祉、4 教育、5 ジェンダー、6 水とトイレ、7 エネルギー、8 労働と経済、9 インフラ、10 不平等、11 まちづくり、12 生産と消費、13 気候変動、14 海の豊かさ、15 陸の豊かさ、16 平和と公正、17 パートナリシップ⇒地球を破壊から守るための持続可能な開発目標

***国連に加盟する193のすべての国々が未来の世界がこうなってほしいという強い思いをこめてつくりあげた2030年を目指す希望の目標です。**

地球のタイムリミットが迫ってますね！自分にできることを
1つ1つ！！



城中図書館にも沢山資料を
そろえています☆

◎先生方、生徒の皆さん、コロナ禍でも温かく支えてくださったボランティアの皆様、今年度も大変ありがとうございました。♡